

第19回宇宙科学・探査部会 議事要旨

1. 日時：平成26年11月14日（金） 15：00－16：30

2. 場所：内閣府宇宙戦略室大会議室

3. 出席者

(1) 委員

松井部会長、家森委員、小野田委員、片岡委員、櫻井委員、田近委員、永原委員、山川委員、山崎委員

(2) 事務局

小宮宇宙戦略室長、中村宇宙戦略室審議官、内丸宇宙戦略室参事官

4. 議事要旨

(1) 新宇宙基本計画の工程表（素案）について

新宇宙基本計画の工程表について審議を行った。委員から以下のような意見があつた。

○宇宙基本計画素案の本文中に公募型小型計画のほか、多様な小規模プロジェクトを着実に実行することや、太陽系探査科学分野の人材育成について記載されているので、工程表にも明記すべきではないか。

○公募型小型計画について、2020年頃以降の打ち上げが立て込む予定であるため、科学コミュニティにおいて、その具体的な提案をしつかり議論すべきでないか。

○10年で戦略的中型を3機、公募型小型を2年に1機という工程表の内容を実現するためには、これまでのIASの公募のシステムや選定方法等を改める必要があるのではないか。

○工程表は、産業界の投資の予見性を高めるだけでなく、科学界にとっても、いつ計画を提案するか等の予見性を高めるものになる。

○国際共同プロジェクトを明記する場合は、打ち上げ国を書くなど、記載の仕方を整理すべきではないか。

○SPICAについて、本文中に記載があるが、検討内容が具体的ではないため、工程表には検討中であることを注記等で示すべきではないか。

○国際有人宇宙探査については、ISEFが開かれるまでに政府としての方針を示すべきなので、いつまでに結論を出すのかわかるように工程表に記載すべきではないか。

本日の議論も踏まえ、新宇宙基本計画の工程表に係る宇宙科学・探査部会の検討結果に関する宇宙政策委員会への報告については部会長に一任し、今後の宇宙政策委員会における取りまとめに反映させるよう調整していくこととなった。

以上